

ちばアントレプレナーシップ教育コンソーシアム

SEEDLINGS
of CHIBA

コンソーシアム団体概要



本能に、感動を。

拓匠開発



ProSeed
JAPAN
人々がもっと輝く空間へ



千葉経済大学
CHIBA KEIZAI



CHIBA UNIVERSITY



団体名

ちばアントレプレナーシップ教育コンソーシアム Seedlings of Chiba
(通称：Seedlings、シードリングス)

学生
考案

<込めた想い>

植物が、たっぷり日光をあび、水、肥料をとるように、
社会に目を向け、経済を知ってほしい。

植物が、丈夫な根・茎・葉をつくるように、
発想を大きく広げ、技術を高く伸ばしてほしい。

植物が、厳しい環境を生き抜くように、
リスクを恐れず挑戦してほしい。

未来の千葉の産業を活気づかせ、
より高い付加価値を生み出してくれるのは、今の子どもたち。
それが、私たちの希望の苗“Seedlings”

1.コンソーシアム組織概要

設立背景

人口減少・
少子高齢化

人生100年時代
(ライフシフト)

労働者の
技術的代替

社会の激しい変化に流されることなく柔軟に対応し、自らの力で社会にある課題を発見し、新しい仕事を創り出すことができる人材を育成することが、将来的な市の産業発展においても重要となる。

「未来の千葉を担う子どもたちのアントレプレナーシップを育成する」という想いを共有した企業・大学・行政などのコンソーシアムを設立。アントレプレナーシップ教育のさらなる発展を目指す。

運営方針①

組織理念

子どもの「稼ぐ力」が育つまち・千葉の実現

私たちは、激しく変化する社会を生きる子どもが、変化に柔軟に対応し、自らの力で社会課題を発見し、新しい仕事を創り出しながら成長できる地域社会を実現するため、アントレプレナーシップを身に付ける場の提供を通じて、未来の千葉の産業を担う子どもの成長を支えます

- ◆ 日本のアントレプレナーシップ教育のトップランナーとして、あらゆる教育プログラムを実践する
- ◆ 千葉の子どもたちだれもが、アントレプレナーシップ教育を受けることができる環境をつくる
- ◆ アントレプレナーシップ教育の成果を全国に発信し、次世代人材の育成を千葉がリードする

運営方針②

行動指針

子ども志向

「子どものアントレプレナーシップ育成」を一番の判断基準として最適解を求める

自己成長

自らもアントレプレナーシップを持ちながら、個人・団体として絶えず成長し、地域社会に価値を生み続ける

ONE TEAM

企業、大学、行政等の垣根を越えて、一つのチームを築く



学生がデザイナー（千葉市出身・倉科明敏氏）と打合せを重ねてロゴをデザイン。

学生
考案



SEEDLINGS
of
CHIBA

ちばアントレプレナーシップ教育コンソーシアム

<シンボルマーク>

- Seedlingsと複数形であることから複数の苗をモチーフにビジュアル化
- 多くの苗が成長し、広い世界に飛び出していくイメージ
- 全体像は苗が成長し咲かせる、大きな一輪の花
- 一つ一つの苗は逆方向には矢印の形になっており、<行政><大学><企業>の他、いろいろな知識や技術、人や物が中心に向かって集まる姿、団体の求心力であり、いずれ育っていく若者の求心力を表現
- 色はエメラルドグリーン。高度な技術や知識をもって、真の起業家精神を育てることが目的であることから、苗のグリーンよりもやや洗練された印象のブルーに寄せた色

<ロゴマーク>

- シンプルで直線的でシャープな字体に、有機的な丸みをもたせたオリジナルの字体
- 文字の間隔を広めに取っており、字数の多い名称でも視認性が高く、緊張感のあるロゴタイプ

1.コンソーシアム組織概要

コーポレートメッセージ

学生
考案

未来の^{おとな}花を、カッコよく。

苗が生長して花になるように、子どもも成長して大人になる。
社会に出れば、誰もが同じ課題と向き合うわけではない。

時代の変化をとらえ、新しいビジネスを起こすことが求められる。
可能性を見つけ、リスクを恐れず立ち向かい、自ら稼ぐ力をつけてほしい。

子どもたちの中にアントレプレナーシップが育つよう、
千葉に暮らす、すべての人が大地を耕し、水をまいていく。

Seedlings of Chiba——。
私たちは、希望の苗を「カッコいい^{おとな}花」に育てます。

1.コンソーシアム組織概要



参加団体（設立時）

No.	分類	団体名	所在地
1	企業・団体	公益財団法人イオン環境財団	千葉県千葉市
2	企業・団体	株式会社オフィスサンマルサン	東京都新宿区
3	企業・団体	グローバルスカイ・エデュケーション株式会社	東京都渋谷区
4	企業・団体	JFEスチール株式会社（東日本製鉄所千葉地区）	千葉県千葉市
5	企業・団体	株式会社ZOZO	千葉県千葉市
6	企業・団体	株式会社拓匠開発	千葉県千葉市
7	企業・団体	株式会社千葉銀行	千葉県千葉市
8	企業・団体	株式会社ビジネス・ブレイクスルー	東京都千代田区
9	企業・団体	株式会社プロシードジャパン	千葉県千葉市
10	大学・短大	敬愛大学	千葉県千葉市
11	大学・短大	千葉経済大学	千葉県千葉市
12	大学・短大	千葉大学	千葉県千葉市
13	自治体	千葉市	

※分類別、順不同

1.コンソーシアム組織概要

役員（設立時）

※敬称略、順不同

役職		所属・職氏名
役員	会長	千葉市 市長 神谷 俊一
	副会長	千葉大学 学長 中山 俊憲
	副会長	JFEスチール株式会社 東日本製鉄所 副所長 浅見 健一郎
	理事	敬愛大学 学長 中山 幸夫
	理事	千葉経済大学 学長 佐久間 勝彦
	理事	株式会社千葉銀行 取締役頭取 米本 努
	理事	株式会社ビジネス・ブレイクスルー 代表取締役社長 柴田 巖
	監事	株式会社オフィスサンマルサン 代表取締役社長 常松 心平
事務局長	株式会社プロシードジャパン 代表取締役社長 吉川 亮	

※ コンソーシアム構想段階から活動に参加していた団体から選任。

※ 設立後、各団体の意向等により順次追加。

2.活動内容

事業～3つの軸～

①アントレプレナーシップ教育事業（対象：小・中・高校生）

アントレプレナーシップ教育を目的とした、子ども向けの起業体験イベントや講座、教材開発・普及支援などを行う事業
(例) 西千葉子ども起業塾、出前授業 等

②普及啓発事業（対象：大学生、保護者、企業等）

アントレプレナーシップ教育の担い手を増やすことを目的とした、コンソーシアムの理念・活動紹介や関連情報提供等の普及啓発事業
(例) 学生向け講義、シンポジウム開催、各種情報発信（web、SNS等） 等

③会員交流事業（対象：コンソーシアム会員）

情報交換による新規事業の創造や既存事業の深化を目的とした、会員同士の交流事業
(例) 会員交流会、活動報告会、オンライン交流 等

2.活動内容

事業～①アントレプレナーシップ教育事業～

西千葉子ども起業塾（対象：小学4年生～中学3年生）

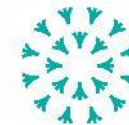
B to Bの起業体験を通じて、様々な課題を発見・解決していく中でリアルな社会の動きや経済の仕組みを学習するプログラム。起業家や社会人からアドバイスを受けながら、子どもたちが自分たちで会社を運営する。

出前授業（対象：中学生）

学校現場にアントレプレナーシップ教育を届けるため、Seedlingsスタッフが学校に出向き、起業を体験する出前授業を行う。2020～2021年度に千葉大学教育学部附属中学校で重ねた授業実践を踏まえ、公立校における展開を検討中。

その他

今後、会員内で活動内容を検討し、順次プログラムの提供を増やしていく予定。



2.活動内容

事業～②普及啓発事業～

アントレプレナーシップ教育シンポジウム

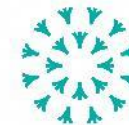
保護者など一般住民に向けて、基調講演やパネルディスカッション、コンソーシアムの活動紹介等を通じて、アントレプレナーシップ教育に対する知見を深めてもらうためのシンポジウムを開催予定。（2022年2月～3月頃予定）

講義・セミナー

「西千葉子ども起業塾」開催に合わせて千葉大学教育学部内で起業等に関する学生向け講義を実施している他、今後、セミナー等の開催も検討していく。

その他

今後、会員内で活動内容を検討し、順次プログラムの提供を増やしていく予定。



2.活動内容

事業～③会員交流事業～

会員交流会

会員団体の担当者や、運営に携わる学生等が、気軽にリラックスしながら交流し意見交換等ができる機会を創出。

オンライン交流

対面で開催する会員交流会とは別に、時と場所を選ばずにSNS等によりオンライン交流できる機会を創出。

その他

今後、会員内で活動内容を検討し、順次プログラムの提供を増やしていく予定。